

旧千代田保健所麴町庁舎跡地利用検討協議会（第3回） 開催要旨

1. 日 時 平成30年12月13日（木） 午後7時～午後8時25分

2. 出席者 委員 13名（外部委員3名欠席）、 傍聴者 12名

3. 内 容

- 1) 開会
- 2) 前回協議会内容の確認
- 3) 協議内容
 - (1) （仮称）区立麴町仮住宅の整備スケジュールの変更について
 - (2) 整備後の利活用について
 - (3) その他
- 4) まとめ
- 5) まとめに対する意見
- 6) 閉会

4. 議事要旨

- 1) 前回協議会内容の確認について（第2回協議会のまとめ）
 - ・地域の全ての課題をこの施設に入れ込むことはできないが、住宅を中心に高齢者住宅、小規模保育事業、高賃貸、職務住宅を検討していく。シェアハウスをという意見もいただいている。
 - ・これまでは神田の施設に入るか、入れなければ区外に転出した方もいるが、地域の要望としてこれらのものが実現するのは明るいニュースだ。そのような点から、今後の跡地の利活用を協議していく。
 - ・バリアフリー化された地下鉄出入口の設置について、区は実現に向けて引き続き進めていただきたい。
- 2) 協議内容について
 - (1) 要望書について
地域の方から協議会会長に提出された要望書に対する回答を行うことと、その内容について確認した。
 - (2) （仮称）区立麴町仮住宅の整備スケジュールの変更について
地下鉄の受け口の設置に伴い8か月程度の工期延長となる。四番町施設においても12か月程度の工期延長が見込まれることから、麴町仮住宅から四番町施設への移転完了と、その後の利活用が可能になる時期が1年6か月遅くなる。いずれも今後の状況によって変更もありうることを報告した。
 - (3) 整備後の利活用について
第1回・第2回の協議会における議論の結果の集約として、住宅建てを活かした利活用や地域の特性を踏まえ、区を支える担い手の住まい・麴町地区に不足している高齢者の住まい・駅に近い立地を活かした子育て支援施設及び地下鉄受け口の併設について、将来活用モデル（案）の提示を行った。

3) まとめ

- ・いろいろな意見が盛り込まれ、地域の利活用と利便性が考慮されたものである。
- ・第1回・第2回では高齢者の住宅、区を支える方たちへの住宅が必要という意見が強かった。
- ・地下鉄出入口の併設は、既存の永田町駅の出入口が朝夕にはパンク状態になることから、仮住宅に併せた整備を要望したものであるが、一方で今回、工期の遅れといったことも出てきている。
- ・将来モデルは現時点の方向性を示すものであるが、今後5年・6年の間には変わり得るものである。
- ・区に対しては、これらの実現について、重ねて要望をしておきたい。

4) まとめに対する意見

①協議会の方たちは地下部分に5億の経費がかかることを知っているか。地下なしの契約に対し変更の手続きがされていない。町会が代表と言うが行政の言っていることに整合性がない。協議会のまとめに意見を述べても意味がない。平河町・永田町への意向調査をすべきと繰り返し言っている。協議会の構成員に陳情者を入れ、女性を増やすべきだ。

(事務局の回答) 契約変更については予算・期間を明確にして手続きをしていく。拡大協議会に準じて運営し、発言の機会も確保している。広く意見を聞く方法としてパブリックコメントを予定している。

②協議会の途中で意見を言わず傍聴だけという会か。議事録の配布はよいことだと思うが、次の会で知っても遅い。来られない人もおり、協議会の結果を町会に周知徹底させるのも町会長や会長の仕事ではないか。

(事務局の回答) 議事要旨については早めに公開できるよう検討したい。

(協議会からの意見) 議事録を次回協議会で確認することは必要である。協議会の結果をどうするかは町会によって温度差があるものと思う。

③協議会として地下工事の追加費用を了承したうえで協議会の意見として集約しているのか。最初に決まった予算をオーバーする計画は練りなおすべきではないか。

(協議会からの意見) 費用がかかるのは承知であり、それが後からどうなるかはわからない。既存の出入口がパンクしている状況をそのままにできないとして、協議会として区に実現を要望したものである。

(事務局の回答) 工期や工事費が示せる状況になったので、これから手続きを進めていく。

④協議会は委員の方たちの意見を中心に動いているものと思うが、今日は委員の発言がなかった。会長の考えと同じなのか。誰も発言しないことに不安を感じる。(意見のみ)